



鐵輪 宮崎精鋼株式会社 名古屋市中川区丸米町一丁目1番地 ☎052-361-2191 平成28年9月号

「第57期定時株主総会開催」

当社第57期(平成27年6月1日から平成28年5月31日まで)の定時株主総会は本社第3会議室において、去る8月31日午後4時より、新日鐵住金(株)殿、大同特殊鋼(株)殿、(株)メタルワン殿をはじめ株主14名(委任状を含む)が出席して開催されました。

まず、第57期の事業報告が議長である社長からありました。当期は販売量172千トン(前期比0.6%減)、売上高250億円(同3.2%減)、経常利益5億3千2百万円(同29.9%増)、税引前当期純利益5億2千3百万円(同30.7%増)となりました。

最近の経済情勢をみますと、世界的には緩やかな改善基調となっています。特に米国経済は個人消費の増加などにより好調に推移していますが、欧州は英国のEU離脱など予測の難しい状況が続いています。また、中国をはじめとする新興国経済の成長は鈍化し、回復には時間がかかる状況となっています。一方、国内の状況は新興国経済の減速による影響が見られたものの、企業収益の改善などにより総じて緩やかな景気回復となりました。しかしながら、円高ドル安への反転、金融資本市場の変動の影響など、景気の先行きに対する不透明感も高まっています。

昨年度の国内新車販売台数(軽自動車を含む)は前年度比6.8%減の493万台にとどまり、東日本大震災が影響した23年度以来4年ぶりに500万台の大台を割り込みました。このような販売状況のなかで昨年度の自動車国内生産は前年度比4.2%減の919万台となり、2年連続で減少となりました。今年度に入ってから27年4月からの軽自動車税増税の影響に、燃費不正問題も加わって軽自動車の販売を中心に低調な状況が続いています。

このような経済環境の下、当社では27年度にスラグ専用STC 炉および新しいフォーマーを設置し、生産体制を整えました。また、28年年初よりメキシコ工場の建設に着手し、9月末完成を目指して工事を進めています。

今期は「CGF」のコンセプトを引き継ぎつつ創業80周年に向けて新たな中期経営計画「CGF80」を策定しました。今後も国内で当社製品の量的拡大をするには困難な状況が続くものと思われませんが、CGF80の課題に取り組み売上高利益率4%以上を目標に、世界トップクラスの特殊鋼棒線二次加工メーカーを目指して邁進いたします。

なお、総会では、すべての議案(第1号議案:第57期計算書類承認の件、第2号議案:剰余金の処分の件、第3号議案:取締役9名選任の件、第4号議案:監査役1名選任の件、第5号議案:退任取締役及び退任監査役に退職慰労金贈呈の件)につきご承認をいただきました。第2号議案の剰余金の処分については、期末配当を前年同様に1株につき75円とすることなどが承認されました。第3号議案では今回の株主総会をもって退任される河合立芳氏以外の9名の取締役の重任が承認されました。第4号議案では辞任された松岡弘明監査役にかわり、新たに尾崎文昭監査役が選任されました。

以上

